

# えるぼし認定一問一答



～えるぼし認定を受けた会社様にお話をお聞きしました～

(開成工業株式会社 様)



(写真：(左) 開成工業株式会社 代表取締役社長 徳安正範 様 (右) 新田峰雄 熊本労働局長)

## —えるぼし認定に取り組もうと思われたきっかけを教えてください。—

弊社は水処理設備(水門、除塵機等)の開発、設計、製作、設置、メンテナンス等を行っている会社であり、会社の売上の9割以上が公共工事案件で経営をしています。職種につきましても、営業・設計・製造・施工管理・総務など多岐にわたり、様々な職種で女性が活躍しています。特に近年では、女性従業員が若手技術者表彰を受け、また溶接技術者大会では入賞するなど、弊社が近年力を入れている女性活躍推進や働き方改革として行ってきた内容がえるぼし認定と適合する内容というのがわかり、職場環境を整える一環として、今回えるぼし認定に取り組みました。

## —申請から認定までの手続きについて不安や問題点等がありましたか。—

申請書類の準備はやや大変でした。2022年12月頃から書類作成の準備を行い、最初に書類を提出したのが2023年の1月上旬でした。そこから何回も書類を訂正するなど、最終的にえるぼし認定されたのが、3月28日と二カ月以上もかかり、えるぼし認定の評価基準を満たしているとは思ってはいましたが、少し不安な面もありました。

しかし、労働局の担当の方に、ひとつひとつ親身に教えていただき、認定を受けることができましたので、この場をお借りしてお礼申し上げます。

また、えるぼし認定を通して、弊社の労働環境を再確認できる良い機会になりました。

## —今後の女性活躍推進に係る取り組みについての抱負を教えてください。—

弊社では2022年度から完全週休二日制を導入しており、建設業では珍しく年間休日も120日を超えています。平均勤続年数につきましては、男性より女性の方が長く、ワークライフバランスの取れた環境を今後も目指していきます。

建設業は女性労働者の割合が低いのが現状ではありますが、弊社では男女の区別なく優秀な女性の管理職登用を進め、すべての職種において女性が活躍できる職場環境づくりを行います。

建設業に興味がある方がもしいらっしゃいましたら、是非開成工業の門戸を叩いてみてはいかがでしょうか。